
プロジェクト発信型英語

Do Your Own Project In English

Real-life Projects in Both Casual and Academic Settings

Project-based English Program Textbook Lifelong Model

Designed for Global Language Exchange

Volume 1

Yuji Suzuki

鈴木 佑治

南雲堂



NAN'UN-DO

はじめに

大学生の多くは、中学校と高等学校で6年間英語を勉強してきました。中には、学習塾に行き更に勉強した人もいるでしょう。にもかかわらず、簡単な日常会話さえままならない大学生が多いのはなぜでしょうか。他の習いごとでは考えられないことです。6年間ピアノを習いながら簡単な楽曲も弾けない、6年間サッカーを習ったのにボールも蹴れないなどということはあり得ません。英語の勉強方法を間違えていたからにほかなりません。英語を話す場がなかったということに終始するでしょう。

筆者は若かりし頃にアメリカの大学で、大学院博士課程で学ぶかわら日本語を教えました。初心者ばかりで、日本語の音やひらがなとカタカナなどから始めました。皆さんが中学校1年生の英語の時間でアルファベットの発音を習うことから始めたのと同じです。アメリカの学生さんは習ったことを使いたがりますから、私は様々な工夫を凝らしてクラスとクラス外でその場を設けました。すると、2年もしないうちにかなりの日本語を話すようになりました。

言葉は何のために使うのでしょうか？ それは日常の生活で知りたいことを知り、表現したいことを表現するためにほかなりません。では、知りたいこととか、表現したいこととは一体何でしょうか？ それはその時々に関心にほかなりません。音楽に関心があれば、人に聞いたり情報誌を読んだりして一生懸命調べます。関心があれば、それについて聞いてみよう、話してみよう、読んでみよう、書いてみようと思うのは当然でしょう。これまでの皆さんの英語学習には、自分の関心を調べ、それについて表現するという視点が欠けていたのではないのでしょうか。

このテキストは、皆さんが好きなテーマでプロジェクトを組み、聞き・話し・読み・書きしながらテーマを掘り下げ、その成果を発信する、発信型のテキストです。すなわち、「プロジェクト活動」は、自分の創造力と個性を生かしながら自由にかつ自発的に表現したくなる場を創造します。それぞれに関心をもつテーマについてリサーチする過程で、分かったことについて互いに話し合うことになり、相手の意見をもとめるようになります。そうすることにより、「聞く・話す・読む・書く」という4つのスキルが、「リサーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベート・パネルディスカッション」などの高度の表現能力に応用されるようになり、内容も濃くなることにともなって、これらの4つのスキルに磨きがかかります。

現在の国内外のあらゆる場面で必要とされているのは、まさに、こうした能力です。グローバル世界では多くのプロジェクトが英語で行われており、そのプロジェクトに参加できることがこれからの若者が生きていく上で大切な決め手となります。その意味でも実際に役立つ英語力と言えるでしょう。

このテキストは、このような発信型の授業を運営するためのシラバスとして、2学期30週分の30 UNITs が用意されています。先端的な情報テクノロジーを利用して活動できるように構成されており、国内外の他大学と共同プロジェクトをしながら国際交流することも可能です。但し、このテキストは、書き込み型テキストとして、テキスト中に設けた Memorandums 欄に、手書きすることを最重視しています。英語は、実際に耳で聞き、口に出し、目で読み、手で書かなければ身につかないからです。テキストに書いてから Web サイトに提出しますが、オンライン環境が整っていないために Web サイトを使用できなくても、テキストに書いたものを踏まえて支障なくプロジェクト活動をすることができます。詳細については『プロジェクト発信型英語テキストの考え方と構成』と称する別冊子に、学生と先生に向け記してあります。授業を始める前に読み、このテキストの趣旨・構成を理解することにより、より効果的に授業を進めることができます。

このテキストは、2008年より2012年まで立命館大学生命科学部・薬学部及びスポーツ健康科学部における「プロジェクト発信型英語プログラム」の教科書として、約2000人あまりの学生諸君を対象に使用した『プロジェクト発信型英語 Do Your Own Project In English Volume 1』(鈴木佑治著、2008、郁文堂)を全面改定したものです。この間、様々な改善点が見つかり、より効果的な教科書にすべく、上記のプログラムでプロジェクト・クラスを担当した先生方の意見を反映し書き直しました。このテキストの出版には、多くの人々の協力が不可欠であったことは言うまでもありません。立命館大学生命科学部・薬学部・スポーツ健康科学部の英語担当の先生方や、多大なサポートをいただいた事務局の方々に謝意を表します。また、22年間、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス及び立命館大学生命科学部・薬学部の筆者の授業を受講した多くの学生さんたちには、貴重な意見と資料を提供していただき、心から感謝いたします。

鈴木 佑治
2013年4月

Table of Contents

はじめに	4
PART I SELF-APPEAL, MINI-PROJECT AND MINI-PRESENTATION	
UNIT 1	Warming up 10
	Introducing yourself and others お互い紹介し合い,コミュニケーションをする雰囲気を作ろう
UNIT 2	Warming up 16
	Self-appeal 英語で自分の好きなことについて話し,自分をアピールしよう
UNIT 3	Mini-project, presentation and discussion 20
	What is research? リサーチとは
UNIT 4	Mini-project, presentation and discussion 24
	An outline/overview of research ミニプロジェクトの「切り口」を考えよう
UNIT 5	Mini-project, presentation and discussion 28
	Organizing ideas and data 1つの「切り口」を選んでテーマを決めて焦点を絞り,リサーチをしよう
UNIT 6	Mini-project, presentation and discussion 32
	The diversity/range of research methods ミニプロジェクトのリサーチを進め,効果的なプレゼンテーション用スライドを作ろう
UNIT 7	Mini-project, presentation and discussion 36
	Writing a script for an oral presentation 中間ミニプレゼンテーション用の原稿を書こう
UNIT 8	Mid-term mini-presentation 40
	Presenting work in progress 【中間発表】ミニプレゼンテーション(1)
UNIT 9	Mid-term mini-presentation 44
	Presenting work in progress 【中間発表】ミニプレゼンテーション(2)
UNIT 10	Mini-project, presentation and discussion 48
	Responding to questions, interrupting and repeating 質問をして答える(1) わりこみと繰り返し
UNIT 11	Mini-project, presentation and discussion 54
	Responding to questions, confirming and explaining 質問をして答える(2) 確認と説明
UNIT 12	Preparing for final mini-presentation 58
	Written presentation 成果のまとめ
UNIT 13	Final mini-presentation 64
	Giving a talk on your completed mini-project 【最終発表】ミニプレゼンテーション(1)
UNIT 14	Final mini-presentation 68
	Giving a talk on your completed mini-project 【最終発表】ミニプレゼンテーション(2)
UNIT 15	Final mini-presentation 72
	Giving a talk on your completed mini-project 【最終発表】ミニプレゼンテーション(3)

PART II PROJECT, RESEARCH, DISCUSSION AND PRESENTATION

UNIT 16	Project, presentation and discussion	76
	Successfully starting a project: what is research? プロジェクトの立ち上げ：リサーチとは？	
UNIT 17	Project, presentation and discussion	80
	Gathering data from interviews インタビューによるデータ収集	
UNIT 18	Project, presentation and discussion	84
	Gathering data by a questionnaire アンケート (questionnaire) によるデータ収集	
UNIT 19	Project, presentation and discussion	90
	Summarizing video clips and other multimedia resources ビデオクリップ等のマルチメディア資料のサマリー (1)	
UNIT 20	Project, presentation and discussion	94
	Summarizing video clips and other multimedia resources ビデオクリップ等のマルチメディア資料のサマリー (2)	
UNIT 21	Mid-term presentation	98
	Presenting work in progress 【中間発表】ミニ・プレゼンテーション (1)	
UNIT 22	Mid-term presentation	102
	Presenting work in progress 【中間発表】ミニ・プレゼンテーション (2)	
UNIT 23	Project, presentation and discussion	106
	Paragraph reading and analysis パラグラフ・リーディング (1)	
UNIT 24	Project, presentation and discussion	114
	Paragraph reading パラグラフ・リーディング (2)	
UNIT 25	Project, presentation and discussion	120
	Summarizing paragraphs サマリーを書く (1)	
UNIT 26	Project, presentation and discussion	128
	Summarizing paragraphs サマリーを書く (2)	
UNIT 27	Project, presentation and discussion	132
	Writing an outline アウトラインを書く	
UNIT 28	Final presentation	140
	Giving a talk on your completed mini-project 【最終発表】プレゼンテーション (1)	
UNIT 29	Final presentation	144
	Giving a talk on your completed mini-project 【最終発表】プレゼンテーション (2)	
UNIT 30	Final presentation	148
	Giving a talk on your completed mini-project 【最終発表】プレゼンテーション (3)	
EVALUATION FORM FOR ORAL PRESENTATION		152

UNIT 1

Warming up

Introducing yourself and others

お互い紹介し合い、コミュニケーションをする雰囲気を作ろう

UNIT 1 では次の2つのことをします。

1. 日本語でさえいきなり話すよう言われても戸惑うでしょう。英語ではなおさらです。まず、お互いを知りあうことから始めます。日本語で思い切り話して話しやすい雰囲気を作ります。
2. 英語で自己紹介し合い、知り合った人を紹介します。

クラスワーク

Step 1

全員席を立ち、自由に移動して自己紹介をしながら、できるだけ多くの人と日本語で自由に話してみましよう。お互いに名前、出身地、趣味などについて自由に話してみましよう。(15分)

Memorandums

Step 2

知っている英語表現を使って同じことをしてみましょう。まず、いくつかの身につけておきたい基本的な表現をおさらいします。

1. お互いの氏名について

A : Hi! My name is Ken Fujii, and your name?

B : Hi! I'm Akemi Yamamoto. Nice to meet you.

2. 出身地や住んでいる場所について

A : Where are you from?

B : I'm from Hakata.

A : Where do you live?

B : I live in Kyoto.

3. 趣味について

A : What's your hobby?

B : My hobby is watching TV.

その他の趣味

playing video games

listening to music

climbing mountains

cooking Chinese food

driving

playing tennis

reading books

doing judo

riding a bicycle

computer programming

singing

drawing

4. 専攻について

A : What's your major?

B : My major is economics.

その他の専攻

economics : 経済学

history : 歴史学

sociology : 社会学

English : 英語・英文学

psychology : 心理学

management : 経営

engineering : 機械工学

Japanese : 日本語・日本文学

political science : 政治学

mathematics : 数学

chemistry : 化学

literature : 文学

computer science : コンピュータ・サイエンス

medical science : 医学

informatics : 情報工学

pharmacy : 薬学

biology : 生物学

life science : 生命科学

5. 学年について

A : What year are you in?

B : I'm a freshman.

学年

a freshman/a first year student : 1年生

a sophomore/a second year student : 2年生

a junior/a third year student : 3年生

a senior/a fourth year student/a final year student : 4年生

Step 3

それでは、前ページの英語表現を使ってお互いを知り合ってみましょう。教室を自由に歩きながら、できるだけ多くの人と話してみましょう。

Memorandums (Names/Home towns/Hobbies/Interests/Comments)

Person 1 _____

Person 2 _____

Person 3 _____

Person 4 _____

Person 5 _____

Person 6 _____

Person 7 _____

Step 4

下の会話例を練習して、会った人を紹介してみましょう。2人ずつ前に出て、お互いについて分かったことを述べて紹介します。

Hi! My name is Kazuko Yamada.

I'd like to introduce Mr. Fumio Kato.

He is from _____ Prefecture, and now lives in _____.

He likes watching soccer games.

He plays soccer.

Memorandums (Names/Home towns/Hobbies/Interests/Comments)

Person 1 _____

Person 2 _____

Person 3 _____

Person 4 _____

Person 5 _____

Person 6 _____

Person 7 _____

Person 8 _____

Tip 1 クラスはできるだけ学生のみなさんが主役になりましょう。例えば、クラス全体の Chair を1名選び進行をまかせるのも良いでしょう。クラス前に機器を準備したり、出欠をとったりするのも良いでしょう。Chair は毎回変わります。



クラス外ワーク

1. 自分をアピールするような具体的なものを探し、英語でプレゼンテーションする準備をしましょう。各自の持ち時間は3分程度です。発表内容を英語で書き、指定された Web サイトか次ページの Memorandums に書き提出しましょう。次の3例を参考にして5感に訴えるプレゼンテーションができるよう準備しましょう。

例1 ラクロスの好きな祥子さんの場合は、普段自分の使っている用具を持ってきて、それをどのように使うのか、またラクロスがどのようなゲームかを説明し、自己アピールします。



例2 ラップの好きな誠君の場合は、ラップのDVDをかけて、この音楽の魅力を説明します。



例3 ミュージカルの好きな由美子さんの場合はミュージカル『キャッツ』の中の一曲を歌い、自慢のノドを披露します。

Memorandums

Tip 2 「はじめに」にも述べましたが、このテキストは、書き込み型テキストです。それぞれの UNIT の各 Step には必ず Memorandums 欄があり、英語で活動内容を書き込むようにデザインされています。一つの Memorandums 欄に書ききれない場合は、他の欄の余白を使いましょう。まず、Memorandums に書いてから指定された Web サイトにアップし提出します。オンライン環境が整っていない場合には、Memorandums に書いたものを定期的に先生に提出してもらいましょう。オンライン環境の使用の有無にかかわらず、学期末には、全員が先生にテキストを提出しチェックを受けます。